

## Y. S. 社会システム学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

交換留学決定後、少し気が緩んでしまいましたが、やはりリスニングに自信がなかったの  
でなるべく時間を見つけて勉強するようにしていました。私の場合は語学学校を探し、手  
続きも全て自分でしなければなりません。しかし思ったより時間がかかったので春  
からスタートする方には年内には手続きを完了されることをお勧めします。更に現地での住  
まいも寮やホームステイ、アパートなど選択肢はあるので早めに決めて、申し込んでくだ  
さい。また、F1 ビザも写真の規定や、必要な書類などをそろえてから大使館に予約をして  
行かなければならないので後回しにせずもう少し早く終わらせておけばよかったなと思  
いました。また、私は下宿先を引き払ったので引越もあり出国前は割とバタバタしてしま  
いました。ですが、分からないことは国際交流センターの方や先輩が丁寧に教えてくださ  
ったので質問があれば積極的に聞いてみられたらいいと思います。

#### ② 現地到着後

3月から8月まではシアトルの University of Washington 付属の語学学校に通っていま  
した。そこでは寮に住んでいたのですが、部屋にはベッドと机とクローゼットだけで、布団  
は自分で調達しなければなりません。私はそのことを全く知らなかったのが現地に  
住んでいた日本人の友達に頼んで車を出してもらい、布団を始めとする必要な物を揃えま  
した。銀行口座の開設と携帯の契約もそのとき一緒にしました。オリエンテーション期間  
は交流パーティーが何回か開催されたのでそこで友達も出来ました。

#### ③ 語学研修期間 (ESL, Academic Skills Study)

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

University of Washington はキャンパスがとても広かったのですが10分間で移動しな  
ければならなかったのが大変でした。しかし、伝統のある大学だったので建物がとてもきれ  
いで、食堂やカフェも充実していました。暖かい日は芝生で勉強したりもしていました。  
授業後は友人とご飯を食べに行ったり週末はドライブや買い物、BBQ をしたりと積極的に  
出かけていました。

##### ◆ 授業内容、課題、試験

Spring Quarter は大学入学準備コースの ESL だったので基本的には TOEFL の勉強と似た  
ような感じで、宿題もそれほど多くありませんでした。普通にきちんと勉強をこなしてい  
ればパスできると思います。私は会話のクラスも取っていて、最初は周りがすごく話せる  
人たちがばかりで不安でしたが積極的に話すことで Speaking が上達しました。

Summer Quarter は英語でビジネスを学ぶ IBEP(Intensive Business English Program)を

取ったので ESL のときに比べて課題が増えました。特にプレゼンをする機会が多く、準備は大変でしたが秋からの正規授業でもプレゼンが多かったので役に立ったと思います。

#### ④ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

MBC は東海岸のバージニア州スタントンにあります。最初に着いたときは田舎過ぎて本当に驚きました。それまでシアトルで何一つ不自由無く生活していたため、最寄りスーパーまで車で 15 分かかるほどの場所は少し不便に感じました。しかしスタントンはとても素敵な町でメインストリートには可愛い雑貨屋さんやおしゃれなカフェ、映画館などもありました。住まいはキャンパス内の留学生が集まる寮でした。ここでは布団やバスタオルなど一通りの物は用意されていました。更に過去の留学生が残して行ってくれた日用品や教科書なども使うことが出来ました。ダイニングや図書館も近かったので移動はとても便利でした。

##### ◆ 履修科目

###### ❖ MBC101

留学生必修の授業で、博物館や地元の資料館などへのフィールドトリップも何度かありました。主に留学生同士が MBC での生活をどのように過ごすかということについて話すことが多かったです。

###### ❖ American Culture

同じく、留学生必修の授業でした。この授業では様々な分野からアメリカについて学びました。教育、政治、経済、歴史、文化などについてテーマが与えられたのでそれに対して毎回 2～3 枚のレポートを出していました。

###### ❖ ESL

こちらも同じく留学生必修の授業でしたが、正直言って半年間語学学校での授業を受けてきたので物足りなく感じました。毎回自分で決めたテーマに沿って 2 枚くらいのエッセイを書きました。

###### ❖ Marketing Principle

日本で既にマーケティングの授業を取っていたということ、更に 200 番台の授業だったのである程度は授業について行くことが出来ました。しかし、ファイナルプロジェクトに向けて 5 回くらいレポートを提出しなければならず、毎回細かく調べ、考えなければならなかったのがすごく大変でした。

###### ❖ Global Business

この授業は 300 番台で、更にディスカッション中心の授業だったため本当に大変でした。まず、毎回リーディングの課題が 100 ページくらい出され、それについてサマリーを提出しなければなりません。最初は事細かく読もうとしてしまったため、非常に長い時

間かかってしまいました。更に、この授業でもプレゼンが何度もあり、準備が非常に大変でした。

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

授業は15単位しか取らなかったのが忙しくはありませんでした。しかし、授業の予習と課題がとても大変でした。レポートも日本に比べてシビアに評価されたので毎回期が抜けませんでした。期末試験は授業によりあるものとなないものがありましたが、しっかり勉強すれば必ず単位は取れます。

#### ⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

シアトルの University of Washington では毎週水曜日に学校内のカフェで開かれていた「会話テーブル」というものに参加していました。これは、英語を学びたい日本人と日本語を学びたいアメリカ人が集まり、気軽に話せるような会でした。バージニアの MBC では、同じ留学生の韓国人の友人が開いてくれた韓国語のクラス（非正規）に参加したり、MBC 中のクラブ（アニメクラブ、ラテンクラブ）の活動に参加したりして交流を図っていました。

#### ⑥ 現地での住まいについて

多くの学生と交流してみたいと思ったため、現地では寮に入ることにしました。シアトルでは University of Washington 付属の寮に住んでいました。そこではアメリカ人のルームメイトと二人部屋でした。最初は緊張しましたがとても優しく接してくれ、更に彼女は寮の人気者だったため私も彼女の友達とたくさん友達になりました。食事は、ミールカードを買わなければならなかったため、そのカードから好きなものを好きなときに買って食べるのが出来ました。バージニアでも大学の寮に住んでいたため食事は食堂で食べていました。ここでは基本的にパンとパスタが中心だったので日本から何か送ってもらうか車で1時間くらいの所にインターナショナルスーパーがあるのでそこで日本食を調達するときもありました。

#### ⑦ 長期休暇の過ごし方

Spring Quarter と Summer Quarter の間の break は友人と3人でカリフォルニアへ旅行に行きました。Summer Quarter が終わった後はすぐに MBC に行かなければなりませんでしたが、Fall Semester 終了後、日本へ帰国する前にヨーロッパを旅行してから帰りました。Fall break は友人と4人でNYに行き、thanks giving break はアメリカ人の友達の家にステイさせてもらいました。Thanks giving は大きなセールが開催されるので朝6時から友達とショッピングモールに買い物に行きました。

#### ⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

12月の下旬にリクナビとマイナビには登録しましたが、特に何も行っていませんでした。私たちの年は就職活動解禁の時期が少しずれたので問題なかったと思います。

## Ⅱ. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことは、いろいろな国の友人と友達になり、様々な場所へ出かけたことです。シアトルを出る前に、15人くらいで船を貸し切り、船上パーティーをしたのが特に印象に残っています。更に、MBCでのローカルホストファミリーがワシントンDCに連れて行ってくれたことも思い出に残っています。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

やはり、勉強です。語学学校中はIBEPが少し大変でしたが、MBCでの勉強は比較出来ない程ハードでした。特にリーディングの量がとても多かったので毎日大変でした。しかし、辛いときこそ初心を忘れずに頑張るようにしていました。また、日本の家族や友達とスカイプで話すことで息抜きをしていました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

私がシアトルに着いた3月はまだ雨期だったので毎日雨が降っていたのですが、ほとんど皆傘をささずにウィンドブレーカーのようなものだけで歩いていたので驚きました。また、いろいろな場所で年齢制限が厳しく、自由の国だと思っていたのでギャップに驚きましたが、一人一人の規則を守る意識の高さに感心しました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は小さい大学だったので留学生一人一人に目が行き届き、細かいところまでしっかりサポートしていただいたことです。悪かった点は、田舎だったので何かと不便だったことです。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必需品です！日用品は場所にもよりますが大都市ならほぼ全て手に入ります。生理用品は持って行った方がいいという人もいましたが私はアメリカの物でも問題ないと思います。私は心配性だったのでいろいろと日本から持って行き過ぎましたが（ドライヤー、文房具、タオルなど）荷物を軽くするためにも必要最低限の物で大丈夫だと思います。アメリカはラフな格好な人が多いので日本でいつも着ているスカートとか履くとMBCだったら多分ちょっと浮くと思います。笑。あと、コンタクトをしている人は必ず多めに持って行くことをお勧めします。薬は風邪薬、頭痛薬、お腹の薬くらいあればいいと思います。私は怖かったのでアメリカの薬は飲みませんでした。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果

一番向上したのはスピーキングだと思います。日本にいるときは全く知らなかった表現や

言い回し、スラングなども話せば話す程自然に身に付きます。なので、失敗を恐れずに出  
来るだけたくさん話すように心がけました。Writing と Reading は自分から意識しないと  
なかなか向上しないなと思いました。しかし、日本に帰ってきてからの TOEIC の点数は  
アメリカに着いてすぐに受けたときより 150 点くらい上がっていました。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学をするかどうか迷っているなら是非チャレンジして欲しいです。TOEFL の勉強は本当  
に大変で、私も最初はテスト中に寝てしまうこともありました。しかし、本気で勉強した  
ら確実に点数は上がります。講座を受講したり、ネイティブとの会話レッスンに参加する  
など私はありとあらゆる方法を試しベストを尽くしました。そして留学から帰ってきた今、  
多くの人と知り合い、本当にたくさんの刺激を受け、世界がかなり開けたと思います。も  
し分からないことがあれば国際交流センターや留学経験者に相談してみるのもいいと思  
います。

IV. 写真



シアトルで船を貸し切って  
パーティー  
語学学校の友達としました



ハロウィンの日にホス  
トファミリーの家に  
Trick or Treat に行きま  
した

## M. O. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは、決定前に比べるとかなり語学勉強量が減りました。ビザの申請手続きが面倒だと聞いていましたが、手順に従えばそれほど面倒なものでもありませんでした。けれども何があるかわからないので、出来るだけ早く手続きを済ませておくことをオススメします。

#### ② 現地到着後

関西空港から成田空港へ移動して7時間ほど待機し、それから Sea-Tac 空港行きの便で行きました。かなり辛かったです。航空券を購入したのが遅かったので、もう少し早めに購入しておけばスムーズに行ける便を選択できただろうと後悔しています。現地到着後はとりあえず、語学学校先の寮に向かいましたが、現地のスタッフの方が部屋や共同のトイレやシャワー室など一切説明してくれなかったのが戸惑いました。何も分からなかったのも、男子トイレを使っていて他学生に驚かれたことを覚えています。笑

#### ③ 語学研修期間 (ESL, Academic Skills Study)

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

University of Washington で語学研修期間を過ごしました。キャンパスが広大で美しく、寮も大学からとても近くて便利な場所だったので、何も不便を感じたことはありませんでした。逆にキャンパスが広すぎたので、移動に時間がかかり次の授業に遅れることもしばしばありました。

##### ◆ 授業内容、課題、試験

ESL では、初めに受けた能力テストの結果によって、自分に合った Listening, Speaking, Writing, Reading のクラスで勉強していました。課題はレベルやクラスによって量が変わりますが、それほど苦勞することはありませんでした。

#### ④ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

図書館もジムもプリンターも無料で使えてとても便利でした。近くに小さな可愛いダウンタウンがあっていくつかカフェや映画館もありました。しかし大きなスーパーに行くためにはバスや車で行くしかありません。おしゃれな服は買えません。キャンパス内ではパーカー等の服装で過ごしていたので問題はありますが、私は買い物が趣味なので少し辛かったです。

##### ◆ 履修科目

ビジネス専攻なので、ビジネスの授業をメイン科目として選択しました。

\*Global Business－300番代の授業でとても苦労しましたが、同時に学びがいがあった授業でもありました。

\*Marketing Principles－マーケティングをしながら自分で新しいビジネスをつくり、レポートをしあげました。

\*American Culture－アメリカの歴史や文化について学び、クラスメイトの前で自分の意見を発表する機会もありました。

\*Horse Back Riding－キャンパス外で5回の乗馬の授業を受けました。

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

ELS や同女の授業に比べると課題やレポートの量はかなり多くて、本当に苦労しました。要領を掴みだすまでは、一日中机に向かい勉強していました。受講する授業にもよりますが、レポート提出がない日はなかった気がします。定期試験は、好きな時間に受けることが出来るので、自分で試験や課題のためのスケジュールを管理することが可能でした。

#### ⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

週に2・3回、MBC生徒によるZUMBAに参加していました。自由参加ですが、あまり運動することもないのでたまに汗を流すことで、とてもいいリフレッシュになりました。

#### ⑥ 現地での住まいについて

語学研修期間はずっと、大学の寮で生活していました。大学から近いし、本学生と触れ合う機会もあったのでとても良い選択をしたと思います。食事も寮の食堂で済ませていました。MBCの寮や食堂も、キャンパス内にあるので移動時間はかからず楽で良かったです。ただ、食事が日によって当たり外れあることと、寮には留学生全員がかためられていたので、それだけは少し不満に感じることもありました。

#### ⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇中はアメリカ国内を旅行したり、友人達と遊んだりして過ごしていました。アメリカは広大で都市によって文化や風土が異なるので、旅行はとても楽しかったです。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学生活中は本当に楽しいことばかりでした。一番留学してよかったと思うことは、沢山のひと々と出会えたことです。年齢も国も文化も異なる人々に出会い、色々な価値観や考えを知ることが出来ました。アジア人とは文化の違いはあるけれども、何か心通うものや共感出来るものが多かったです。そのため、アメリカに留学してきたものの、アメリカ人よりもアジア人の友だちが本当に沢山出来ました。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

つらかったことは、やはり勉強です。MBC での勉強は本当につらかったです。期末試験前には明け方まで勉強して試験に臨んでいました。試験後には少し仮眠をとり、また遅くまで勉強をして寝不足になるという悪循環が続き、精神的にも体力的にもしんどかったです。もうひとつ、ネイティブの学生達の会話がわからない時にもつらい思いをしました。教授や留学生に興味を持っていてくれる人々は、きれいな文法でゆっくり話したりしてくれましたが、普通の学生さん達にはスラングを交えたり早口で話しかけられることもあったので、その時は理解できないつらさと悔しさを感じていました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

まず初めに、レストランのウェイトレスの接客態度に驚きました。携帯をいじりながら働いている人なんてしょっちゅう見ますし、料理提供が遅いなど、日本のホスピタリティ精神に改めて誇りを感じました。他にも様々な場所で、色々な人と関わり、文化や習慣の違いは常に感じていました。交通機関も電車やバスが大幅に遅れたり、時には来ないなんてこともありました。驚くこともありますが、すべて文化・習慣のちがいだと割り切り、おもしろいなあと受け止めていました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

大学の規模が小さいことです、その分、授業内外ともに深く人と関わる事が出来ました。また一つひとつの授業の学生数も少なく、教授が心温かくサポートしてくれました。教授だけでなく学生も親切でフレンドリーな子が多くて、とても過ごしやすかったです。MBC には日本語の授業もあり、日本やアジア文化に興味を持っている人が多くてよく声をかけてくれたり、私からも気軽に接することが出来てよかったです。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必需品です。留学中にパソコンを使わない日なんてほとんどなかった気がします。それと、アメリカは多くの飲食店や大学のキャンパスで Wifi を無料で使うことが出来るので、日本から持参したスマートフォンがとても役に立ちました。(現地で購入した携帯電話は通話機能しか果たしていなかったの。) 日用品や服などは基本的になんでも現地で揃うと思います。日本食や日本の商品も、アジア系のスーパーやマーケットに行けば値段は高いですが意外と手に入るので大丈夫だと思います。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果

この留学を通じて語学力はもちろん伸びましたが、私自身の方が成長することが出来たと感じています。英語力は確実に伸びました。TOEIC, TOEFL の点数は上がりました。しかし本当の留学の成果は語学力の向上ではなく、自分自身が成長出来たことです。アメリカの授業では、学生一人ひとりの積極的な発言が尊重されています。元々私はどちらかとい

うと消極的な性格でしたが、周囲に刺激されたこともあり、いつの間にか積極性が身についていました。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

この留学期間が今まで生きてきた 21 年間で最も素晴らしい期間であると断言できます。それほど、この留学生活は私にとって貴重で意味のあるものでした。TOEFL の勉強は大変だし、なかなか点数も上がらなくて尻込みしてしまうかもしれません。実際に私もそうでした。けれども、絶対に留学したい！という強い目標と意志があれば勉強も頑張れるし、その努力はいつか必ず報われます。協定留学の為に私が TOEFL の点数を獲得できたのも、締め切り前の最後の TOEFL の試験でした。諦めずに勉強を続けた結果、留学することが出来ました。後輩のみなさんにもあたしと同じように、留学を経験して色々なことを経験し、たくさん学んできてほしいです。最後まで諦めずに頑張ってください！！応援しています！！

#### IV. 写真



語学研修時期の写真です。私の誕生日のためにサプライズで多くの友人が集まりお祝いしてくれました。今までで一番楽しくて嬉しい誕生日でした！